

※1枚ずつお取りください。

# 川上校区 第153号 公民館だより

発行 佐賀市立川上公民館 TEL(62)5775 FAX(62)5775  
E-mail:kkawakami@city.saga.lg.jp 川上のアオバズク



令和7年(2025年)3月

作品名:「2階からの景色」

川上小6年 松永 愛唯夢さん(立石)

佐賀市の人口 226,233人 川上校区の人口 5,750人 川上校区の世帯数 2,250世帯 【令和7年1月末現在】

## 川上校区公民館からのお知らせ 佐賀市のwebサイト「つながる川上」

まちづくり協議会で実施している活動、校区の行事、公民館講座など、生活に役立つ便利で楽しい情報を掲載しています。

「つながる川上」



## 公民館のご利用について

皆さんの生涯学習やサークル活動、地域コミュニティ活動の場として、どなたでも部屋のご利用ができます。  
(※営利活動等は除く)



「公民館予約システム」  
自宅からでも



## 公民館主催・共催講座等の報告

### 第5回川上凧あげ祭りを開催しました

川上校区の各種団体で実行委員会を組織し、準備に5回の会議を重ねてきました。

小春日和の暖かさに誘われてか多くの人出で賑わいを見せた川上凧あげ祭り。当日は、風に恵まれず凧あげ日和とまでは行きませんでした。子どもから高齢者まで幅広い世代の人が参加しました。親子、友人の絆を深めることを目的にした凧あげ祭りは、今年も成功裏に終了しました。各団体相互が支えあうことで、地域コミュニティの形成につながっていく祭りにもなりました。みかんや大根の無料振舞いで、大いに祭りを盛り上げることができました。

また、会場には能登半島地震義援金募金箱を設置させていただき、ご寄付額52,214円は、日本赤十字社佐賀県支部を通して被災者の元へお届けさせていただきました。最後に校区の各種団体の皆様のご協力と参加者の皆様の笑顔に感謝申し上げます。有難うございました。

【開催日：1月19日(日)総参加者数：主催者発表 1,500人(従事者含む)】

【主催：川上校区凧あげ祭り実行委員会(構成数10団体) 共催：川上校区公民館】



肥前大和紙鳶の会で連凧を準備しました



パン菓子を前日から自治会と女性部で準備



こんなに多くの人出に感謝感激です



凧配布受付には長い行列が出来ました



大和中の生徒さん6人がボランティア参加



紙鳶の会の連凧が早朝から来場者を歓迎

※詳細については、川上校区公民館(Tel 62-5775)にお問い合わせください。



川上小6年生54名の連凧が空高く



小さい子どもも凧あげに夢中になりました



ゼッケンを着けて競技に参加する子ども



凧のプレゼントにジャンケンをする子ども



缶バッジのプレゼントを選ぶ子どもたち



駐車場も会場の中も車と人で混雑しました



ぜんざいに大きい大根に凧もゲットしました



あちらこちらに休憩場所を見つけて思い思いに過ごしました



農業部会で育てた大根300本を配布



焼き芋が焼き上がるのを待っています



ぜんざいの配布に奮闘するスタッフ



ここではシシ汁の配布に忙し過ぎです



綿菓子作りにも忙し過ぎて嬉しい悲鳴



村島実行委員長もマイク片手に大忙し



女性部長と子育て副副会長にマイク放送を



焼きそば作りにも奮闘しました



石丸実行副委員長より最後の挨拶

## 佐賀の鉄道の歴史と未来「日本の鉄道は佐賀から始まった」を開催しました

さが鉄道研究会の古賀宏氏を講師に「佐賀の鉄道の歴史と未来」を開催しました。

幕末佐賀藩の功績が後の日本の鉄道の発展に大きく寄与したことや、明治から昭和にかけて佐賀のまちなかを鉄道が走っていたことを、地図や写真などの資料をもとにお話しされました。

後半は西九州新幹線やJR東日本の貨物新幹線、リニアモーターカーの計画など「鉄道のこれから」についても解説していただきました。会場では、寝台列車「さくら」のヘッドマークや行先プレート、昔の切符や車内に掲示されていた路線図など（いずれも実物）古賀さん所有の貴重な資料も展示され参加者の目を楽しませてくれました。【於：校区公民館1月22日(水)参加者：21名 公民館主催】



佐賀の鉄道について会場の様子



昭和45年頃の佐賀駅



寝台列車「さくら」ヘッドマーク・行先プレート他



## ★★★★★ 今が旬・川上の地域ニュース ★★★★★

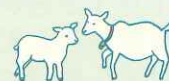
### 自治会女性部「社会福祉法人若楠 どんぐり村」を視察研修

知的障がい者の自立を支援している「就労支援施設どんぐり村」を自治会女性部で訪問しました。

87haもの広大な自然公園では、「障害者も健常者も共に働ける場所を」と平成17年にどんぐり村内に開設されました。敷地には農園、パン工房、レストランや売店があり、それらの施設をはじめ環境整備班、花苗班、アート活動班などで障がいのある方59人が働かれています。

職員の方にそれぞれの現場を案内していただきました。園長が「まだまだ利用者さん（障がい者の方たち）を楽しませたい、働きたいと思う現場を作りたい」とおっしゃるように、職員の方は「利用者さんの個々の特徴を理解し、目線を合わせ作業に取り組んでいる」とお話しされました。30分程の意見交換の後はバター作りの体験もさせていただき、充実した視察研修を行うことができました。

【於：どんぐり村12月3日(火)参加者：11名 自治会女性部主催】



どんぐり村入り口で集合写真に



職員の案内で広大な敷地の中の一つ一つの施設を見て回りました



### 「市長、出動!まちトーク」が川上校区公民館で開催されました

坂井市長が川上校区に直接出向いて、市の施策5つの柱（①災害に強いまちへ。②子育て・教育にやさしいまちへ。③誰もが元気に住み続けられるまちへ。④日本一便利なまちへ。⑤豊かで、賑わいと魅力あふれるまちへ）についてお話しされました。また、意見交換では川上校区の問題や要望などについて7人の方が述べられました。「市報情報にない事を聞いて良かった。」「色んな分野で活発な意見が出た、川上の住民の思いが伝わってきた。」などたくさんの感想が寄せられました。最後に常に挑戦することで、常に価値を生み出す市政へ「動きます、佐賀市。」で締めくくられました。

【於：校区公民館12月20日(金)参加者：総勢95名 佐賀市主催】



坂井市長から市の施策5つの柱について説明をされました



山領政信校区自治会長会会長(左)と辻日出生コロニー跡地開発検討委員会委員長が意見交換でお話されました



## 「川上校区ふれあい交流会」が開催されました

一人暮らしの高齢者（75歳以上）を対象に川上校区ふれあい交流会が開催されました。川上小3年生の北村真央さんの祝吟（長寿吟）に始まり、ゆめさが大学の皆さんによるマジックなど8演目が披露されました。招待者40名（対象者115名）は、様々な出し物に楽しいひと時を過ごされました。また、従事者を含め全員が川上小茶道クラブによるお茶接待を受けました。最後は、抽選会の景品と校区社協からのお土産（紅白饅頭、ミカン）をいただいて笑顔で帰宅の途につきました。

【於：校区公民館 12月21日（土）参加者：総勢217名 校区社会福祉協議会主催】



詩吟（川上小 北村真央さん）



川上っ子合唱団（西村庸子先生）



仕舞い（古川正忠さん）



キッズダンス（フェリーチェ）



民謡（與止日女ガールズ）



手足体操（おたっしゃ本舗大和）



お楽しみ抽選会



川上小茶道部によるお茶接待

## 令和6年度佐賀市二十歳のつどい（大和会場）

1月12日（日）大和地区（春日、春日北、川上、松梅）の二十歳のつどいの式典が龍登園を会場に華やかな整然とした雰囲気の中で行われました。川上校区の対象者は44名で、全体で176名の参加がありました。会場は、友人や恩師との再会で喜びと熱気にあふれていました。式典の司会進行を春日校区出身の長田さくらさん、記念品の贈呈を川上校区出身の江頭俊輔さん、また、感謝の言葉を川上校区出身の武富康斗己さんが、それぞれに大役を果たしてくれました。【佐賀市主催】



二十歳のつどい  
実行委員のメンバー



記念品の贈呈  
（川上校区江頭俊輔さん）



二十歳代表の感謝の言葉  
（川上校区武富康斗己さん）



全員で集合写真に

## 自主防災会本部で炊き出し訓練を実施しました

川上校区自主防災会活動として、年4回の取り組み計画の一つ、炊き出し訓練を「川上凧あげ祭り」に併せて実施しました。この日は、凧あげ参加者を避難者とみなして防災食（カレーライス）400食を準備しました。多くの参加者であふれた会場では、子ども連れの親子、スタッフ、見物の皆さんが列を作り防災食の提供を受けていました。自主防災会本部派遣要員の皆さん、本当にご苦労様でした。有難うございました。【於：はなはなパーク 1月19日（日）・自主防災会本部主催】



防災食（カレーライス）400食の炊き出し訓練の様子



凧あげ祭りの来場者を避難者に見立てて400食を準備しました

